

『新編 現代文 改訂版』

発行者番号	教科書の記号・番号
15 三省堂	現文 033

A5判、370ページ

< 1. 編集方針 >

- 国語総合の学習成果をもとに、近代以降のさまざまな文章に触れ、日本の言語文化を享受し、現代社会に適応した個性豊かな人間として生きてゆくための国語の力の育成をめざしています。
- 多様な価値観に触れ、豊かな人間性を育むとともに、その人間性を基盤とした認識・判断・思考・表現の力を統合的に伸ばすことのできる教科書をめざしています。

< 2. 構成、教材の配置 >

- 二、三年の通年履修を想定した二部構成としています。
- 各教材をジャンルの特徴が明確になるよう位置づけるとともに、独立性を持たせ、学習者が教材文の持つ主題や文体の独自性に自由に迫ることができるようにしました。
- 「1部」「2部」とともに、六単元構成とし、随想・評論・小説は、それぞれ二～三作品で一単元を構成しています。
- 表現することを活動の中心に据えた教材を、実用的な文章や情報活用の仕方なども勘案して各部に1教材ずつ配しています。
また、「2部」には、文章から理解したことをまとめ自分の考えを表現する教材「批評のまなざし」を四教材配置しています。AO入試や小論文にも対応しています。
- 「2部」の末尾に読書活動を広げる手がかりとなる「読むことへのいざない」を配置。現代評論のキーワードや、文学作品の紹介を掲載しています。

< 3. 教材選定の観点 >

- 生徒の知的好奇心を喚起することのできる、問題意識が明確であるとともに、発想の豊かさや着眼点の新しさをもった魅力あふれる文章を採録しています。
- 思考力・判断力・表現力を高めるため、事象を言語で論理的に捉えた文章に多く触れるとともに、学習者の表現意欲を喚起できるようなテーマを大切にしています。
- 楽しく読み進めながら感性を磨き、人間存在をより深く捉えられるよう、学習者の実像を見据えつつ、多様な作品を採録するようにしています。
- 定評ある教材と清新な同時代的な話題の教材とのバランスに、特段の配慮をしています。

< 4. 言語事項、教材化、学習上の配慮 など >

- 教材化にあたっては、総合的な国語の運用能力を図れるよう工夫しています。
- 教材末に「学習の手引き」を設け、内容理解の手がかりとなる課題と、その理解を高め、発展させるための学習活動を示しました。
- 「語句と漢字」では、語彙をひろげるための問題、常用漢字習得のための問題を掲げました。
- 読解や鑑賞の補助的資料としての写真や図版を、鮮明さ、見やすさを重視して選定し、掲載しています。